

認知症バリアフリーWG 令和4年度 実施内容

厚生労働省 老健局

土生 栄二

認知症の人への接遇に関する手引き 『認知症バリアフリー社会実現のための手引き』

作成済の4業種

金融編

住宅編

小売編

レジャー・生活関連編

手引き



留意事項集

- 令和2年度は、認知症の人と接する機会の多い業態から、**「金融」「住宅」「小売」「レジャー・生活関連」の接遇の手引きを作成。**
- 令和3年度は、企業ごとの業務内容や地域の特性等により求められる対応は異なることが想定されること、また、個々の企業が地域において果たす役割や社内制度の整備の明示に努めることを促進する観点から、**会社版マニュアル作成のための「留意事項集」を作成。**



令和4年度の取組（認知症バリアフリーWG）

4業種に限らず、認知症バリアフリーの取組を広げていくため、以下の取組等を実施予定。

■ 認知症の人を含む高齢者が利用することが多い業種のうち、これまで未作成の業種（4業種程度＋図書館）における手引きを作成。

■ 作成済手引き等のメンテナンス



認知症バリアフリー宣言・認証制度

認知症施策推進大綱

(令和元年6月18日 認知症施策推進関係閣僚会議決定)

基本的考え方

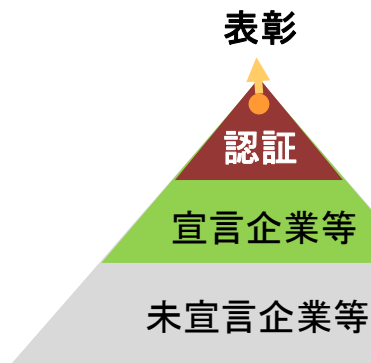
認知症に関する取組を実施している企業等に対する**認証や表彰制度の創設を検討**する

○認知症に関する取組を実施している企業等の**認証制度や表彰**

「認知症バリアフリー宣言（仮称）」の仕組みを検討し、さらに、宣言した企業等のうち、希望する団体に対する**認証の仕組みを検討**する。

<KPI／目標>

認知症バリアフリー宣言件数・認証制度応募件数・認証件数（認知症バリアフリー宣言、認証制度の仕組みの検討結果を踏まえて検討）



【認知症バリアフリー宣言制度】

<令和3年度>

- **試行事業の実施及びスキーム構築**：試行事業を実施（19企業・団体）するとともに、その結果等を踏まえ、宣言制度のスキームを構築。
申請から公表までを行うポータルサイトの構築、ロゴマークの作成も行った。

<令和4年度>

- **制度の運用及びメンテナンス**：構築した宣言制度を適切に運用していくとともに、申請・登録・公表の仕組やポータルサイトの改善等について必要な検討を行う。
- **制度の周知・広報**：制度の認知度向上に向けた周知・啓発を実施。

【認知症バリアフリー認証・表彰制度】

<令和3年度>

- **認証制度のあり方の検討に当たっての論点整理**：宣言制度の試行事業の実施結果やアンケート結果等を踏まえ、認証制度のあり方を検討するに当たっての論点（導入・運営コストと質確保の両立の必要性、書類審査等の実運用の業務量、認証制度の前提としての宣言制度の継続的普及・拡大等）を整理。

<令和4年度>

- **認証制度のあり方の検討**：導入・運営コストの低減化と質確保の両立等、認証制度のあり方について検討を行う。
- **表彰制度のあり方の検討**：認知症バリアフリーに向けた取組やPRを積極的に実施している企業等を表彰する制度のあり方について検討を行う。